

# 図書館だより

図書室は知識の宝庫

令和7年6月 栃木市立東陽中学校 図書室

## 図書室で静かな時間を・・・



1学期も後半になってきました。修学旅行、職場体験、校外学習、とさまざまな行事もあり、疲れがでてくる頃だと思います。図書室で静かに本と向き合う時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

みんながリクエストしてくれた本や夏休みの課題図書の本が入ります。楽しみにしていてください。

## ◆ 6月の貸出し予定表 ◆

月	火	水	木	金
2 2年生	3 3年生	4 閉館	5 1年生	6 2年生
9 3年生	10 2年生	11 1年生	12 3年生	13 2年生
16 閉館	17 1年生	18 3年生	19 2年生	20 1年生
23 3年生	24 2年生	25 閉館	26 1年生	27 3年生
30 2年生				

県民の日（6月15日）



明治6（1873）年、当時の栃木県と宇都宮県が統合され、おおむね現在の形の栃木県が誕生しました。栃木県ではこれを記念し、昭和60（1985）年に6月15日を「栃木県民の日」と定めました。

みんなは栃木県についてどのくらい知っていますか？

栃木県に関する本を展示中です。読んでみてください。

県木は？

県花 やしおつづじ

県鳥は？

県獣 カモシカ

答えは、後ろにあります。

## 夏休み課題図書の紹介



夏休みの国語の課題としてもおなじみの「青少年読書感想文コンクール」。

このコンクールは、読書活動の振興を目的に1955年に始まり、全国学校図書館協議会と毎日新聞社の主催で毎年開催しています。

2025年度の課題図書（中学校の部）は下記の3冊です。ぜひ読んでみてください。そして、読書感想文にもチャレンジしてみてください。

わたしは食べのが下手	天川 栄人／作（小峰書店）
	会食恐怖症と摂食障害。ふたりの少女がたどり着いた正しい“食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って、どんなだろう? 【みどころ】 食にまつわる悩みを抱えたふたりの中学生が、背中を押してくれる先生や、様々な環境の友だちとのかかわりを通して、少しずつ悩みと向き合っていく様子が描かれています。食べることの大切さを教えてくれる物語です。
スラムに水は流れない	ブルーシャ・バジャージ/著 村上 利佳/訳（あすなろ書房）
	インドのスラムは水の供給が極端に悪かった。少女ミニニは水関連の事件や母が倒れるなど試練の中、健気に生きぬいていく。 【みどころ】 スラムはムンバイの人口の40%が住んでいるが水は5%しか供給されていなかった。兄が身をかくし残された少女ミニニは、母が倒れるなど次々とふりかかる試練にまけず知恵を働かせて難題をのりこえていく。
鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者	竹内 紘子/著（くもん出版）
	「知の巨人」ともいわれた夫の鳥居龍蔵や家族とともに、人類学の研究に取り組み、調査を進めた鳥居きみ子の生き様を描きます。 【みどころ】 調査にくわわる子どもたちを母として気遣い、励まし、また研究者としてやるべき調査を進めました。「家族で調査・研究する」という形で、女性の活躍が厳しい時代を生き抜いた、鳥居きみ子の生涯をお伝えします。

全国学校図書館協議会より

★図書室に来てチェックしてみてください。読書感想文 Q&A も掲示中です。



答え：県木：トチノキ、県鳥：オオルリ